

Topics 1

教職員の皆さまへ



■ 退任のあいさつ

このたび、任期の満了をもちまして、教育長を退任させていただくことになりました。平成 30 年 4 月に就任して以来、2 期 4 年の間、社会や時代の変化にも対応しつつ、高知県教育の振興に関する施策の大綱や高知県教育振興基本計画に基づき、教育課題の解決・本県教育の振興に取り組みさせていただきました。

特に後半の 2 年は新型コロナウイルスへの様々な対応を余儀なくされ、事業や計画の中断や遅延もありましたが、新学習指導要領への対応や全県的な ICT 基盤の整備、県立夜間中学の設置など、社会の変化への対応や本県の課題であった学力・体力の向上、不登校への総合的な対応に向けた施策や環境の整備、懸案とされてきた県中央部での知的特別支援学校の設置や教員の働き方改革に向けた各種の取り組みなど、一定の前進をさせることができたと考えています。

私自身は、たいへん微力でありましたが、県教育委員会事務局の職員の皆さん、市町村教育委員会、学校現場の教育関係者の皆さんの懸命の努力や、地域や保護者の皆様のご支援、ご協力、そして何といても児童・生徒の皆さんの頑張りによるものと考えております。

今後とも、チーム学校として更に一致団結をされ、本県の教育大綱に掲げます基本理念の実現に向けて取り組んでいただきますようお願いしたいと思います。

最後に、私は 4 年間勤務する中で、学校にはまだまだ前例主義が存在しているような印象を受けました。

昭和の時代に作られた校則が、そのままこの令和になっても残っていたことはその一例だと思います。学校の行事も含め、去年もそうだったからとか、今までこうしてきたからではなく、是非、その意義や目的を再確認し、社会や環境の変化に対応した取り組みをお願いしたいと思います。このことが皆さんの働き方改革を大きく進めることにもつながると思います。

今後の皆様方のますますのご活躍と本県教育の更なる振興を祈念し、退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



伊藤 博明

■ 着任のあいさつ

この 4 月から、伊藤教育長の後任として就任します長岡 幹泰です。

今、新型コロナウイルス感染症の影響や Society5.0 の到来など、社会・経済が激しく変化する時代がすぐ目の前にあります。そのような中であって、子どもたちには、知・徳・体の調和のとれた生きる力をしっかりと身につけて、自己実現を果たしながら持続可能な社会の創り手となっていく必要があります。

このため、高知県では、「学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたち」や「郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人材」の育成を基本理念とする教育大綱を定め、県教育委員会では、その実現に向けた教育振興基本計画を策定し取り組みを進めています。令和 4 年度は、令和 2 年度から取り組みをスタートさせた第 2 期教育大綱、第 3 期高知県教育振興基本計画の折り返しの 3 年目となります。

私の役割の大きな一つは、これまでに進めてきたこの教育振興基本計画の「チーム学校の推進」、「厳しい環境にある子どもへの支援や子どもの多様性に応じた教育の充実」などの方向性に沿った各施策の PDCA サイクルをしっかりと回しながらその取組を確実に進めていくことと考えています。あわせて、この 3 月に行った教育大綱・基本計画の第 2 次改訂のポイントでもあります「デジタル技術を活用した学習スタイルの充実等」や「不登校への重層的な支援体制の強化」、「学校における働き方改革の加速化」などの様々な課題の解決に向けて積極的に取り組んでいかなければなりません。

このためにも、今まで以上に学校や市町村教育委員会と子どもたちを真ん中に置いた対話を進めるとともに、保護者や地域の皆様、関係機関の方々のお声を聞かせていただきながら、家庭・地域・学校・関係機関との連携を強化して取り組んでいきたいと考えております。

ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



長岡 幹泰

第2期教育大綱・第3期高知県教育振興基本計画の第2次改訂について

「第2期教育等の振興に関する施策の大綱」「第3期高知県教育振興基本計画」（令和2年3月策定）については、毎年度、PDCAサイクルによる進捗状況のチェックを行うとともに、国の教育改革の動向等も勘案して見直しを行うこととしています。この度、第2次改訂（令和4年3月）を行いましたので、そのポイントと主な取組についてご紹介します。

第2期教育大綱及び第3期教育振興基本計画 第2次改訂のポイントと令和4年度の主な取組

◆急激に変化する時代（予測困難な時代、Society5.0等）の中においても、子どもたちが知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を身につけ、持続可能な社会の創り手となることができるよう、本県の教育課題解決に向けた施策を強化する。

ポイント1 質の高い教育の実現に向けた組織的な取組強化

- 義務教育9年間の連続性を踏まえた学力向上対策の強化
- 高等学校における新学習指導要領に基づく「新たな学び」に向けた授業改革
- 「体力・運動能力向上プログラム」の活用による「体」の取組の充実
- 保幼小中連携・接続のさらなる推進

ポイント2 デジタル技術を活用した学習スタイルの充実等 デジタル化

- 1人1台タブレット端末及び学習支援プラットフォーム「高知まなびばこ」の機能拡充とさらなる活用
- 「ICT活用指導力向上研修プログラム」に基づく研修の充実
- 遠隔授業・補習の拡充 ■ 中学校の免許外指導に対する専任教育システムを活用した支援
- デジタル教育を支えるサポート体制の強化

ポイント3 多様な子どもたちへの支援の充実

- スクールソーシャルワーカー（S W）と市町村児童福祉部署との相互連携による支援体制の強化
- 小・中学校の特別支援学級における教育の質の向上に向けた取組強化
- 高等学校における通級による指導の場の拡充
- 医療的ケア児に対する支援の充実
- 地域学校協働本部とコミュニティ・スクールとの一体的な推進

- 子どもたちの安全・安心の確保のための取組強化
 - ・ 感染症対策の実践に向けた指導の充実
 - ・ 外部講師との連携等による「性に関する指導」の充実
 - ・ 放課後等の子どもたちの安全・安心な居場所づくりや学び場の充実
 - ・ 情報モラル教育の充実
 - ・ キャリア教育・進路指導の充実
 - ・ 成年年齢引下げに伴う生徒の社会参画の支援の充実

ポイント4 不登校への重層的な支援体制の強化

- 新規不登校の抑制に向けた学校の取組の強化
- 校務支援システムや学習支援プラットフォームの「きもちメーター」を活用した情報共有・児童生徒理解
- ユニバーサルデザインの視点に基づく学級経営・授業づくりの徹底
- 学校・S Wと市町村児童福祉部署等との相互連携による支援体制の強化
- 校内適応指導教室の拡充

ポイント5 学校における働き方改革の加速化

- 学校組織マネジメント力の向上と教職員の意識改革に向けた取組強化
- デジタル技術の活用による業務効率化の推進 ■ 外部人材の活用拡充

◆次なる時代のキーワードとなる「グリーン化」「グローバル化」の観点から、本県の教育施策の見直しや強化を図る。

ポイント6 学びをつなげる環境教育の推進 グリーン化

- 就学前・小・中学校・高等学校等における体系的な環境教育の推進
- 高等学校におけるSDGsやカーボンニュートラルをテーマに含めた課題解決型学習の実践
- 県立の学校施設や教育関係施設整備における省エネルギー化の推進

ポイント7 グローバルな視点での教育の推進 グローバル化

- 高知県版グローバル教育の推進
- 学習指導要領に基づく国際理解・国際親善教育の推進
- 「高知県英語教育推進のためのガイドライン」に基づく取組の推進
- 「高知県日本語教育基本方針」に基づく取組の推進

基本目標の達成に向けて、これまで2年間の施策の実施状況を踏まえ第3期教育振興基本計画の取組をさらに充実・強化

■ 昨年度同様、6つの基本方針と2つの横断的取組に沿って施策を推進します。

6つの基本方針

- I チーム学校の推進
- II 厳しい環境にある子どもへの支援や子どもの多様性に応じた教育の充実
- III デジタル社会に向けた教育の推進
- IV 地域との連携・協働
- V 就学前教育の充実
- VI 生涯学び続ける環境づくりと安全・安心な教育基盤の確保

組織力の強化



- 学校経営力の向上
- 地域との連携・協働
- OJT機能の強化
- 外部人材の積極的活用



1人1台タブレット端末のさらなる活用（全公立学校）

6つの基本方針に関わる横断的な取組

- 1 不登校への総合的な対応
- 2 学校における働き方改革の推進



今回の第2次改訂を踏まえた施策を各学校や市町村教育委員会等と緊密に連携しながら効果的に実施し、本県の教育の質の向上を図っていきます。



計画冊子のデータは、高知県教育委員会事務局ホームページに公開します。
また、Groupwareのキャビネットにもデータを格納します。

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>



教育政策課 教育企画担当
TEL : 088-821-4731

●「高知家」いじめ予防等プログラム—追補版—

県では、「高知県いじめ防止基本方針」（H26年策定、H29年3月改定）に基づき、「いじめのない心豊かで安全、安心な社会の実現」を基本理念に掲げ、その実現に向けて県民総ぐるみでいじめの防止等に取り組んできました。そして、県教育委員会では、各学校、保護者、地域、関係機関等がいじめ防止等の取組を効果的に推進できるよう、『高知家』いじめ予防等プログラム（令和2年3月）を作成し、現在、活用いただいているところです。

しかしながら、子どもたちが悩みを抱えていても相談できずに重大事態に至ってしまうことや、インターネット上でのいじめやトラブルの増加により、つらい思いをする子どもが今もなおいること、さらには、子どもを守るべき大人社会においても新型コロナウイルス感染症による偏見・差別の事案があるなど、まだまだ本県のいじめ防止等の取組に課題があると捉えています。こういった現状を踏まえ、この度、『高知家』いじめ予防等プログラム—追補版—を作成しました。

●「高知家」いじめ予防等プログラム—追補版—の概要

第4章 子どものSOSサインへの気づきと理解

子どものSOSサインに気づくためのポイント など

第5章 「不安や悩み、ストレス対処」学習プログラム

不安や悩み等への対処について学ぶ学習指導案 など

第6章 大人社会での偏見、差別、人権侵害

身のまわりにある様々なハラスメント など

第7章 ネットいじめと情報モラルについての理解

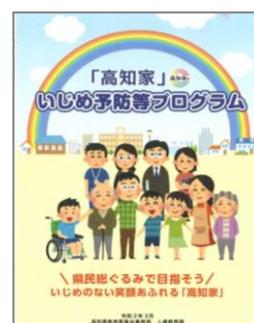
ネットいじめを防ぐために など

早期対処についての
教員研修用プログラム

相談の仕方、聞き方など
特別活動等の教材

教員・保護者・地域の研修
で活用できるプログラム

ネットいじめ防止に関する
基本的な資料



※プログラムの内容や研修用スライドは県のHP・高知家まなびばこからダウンロードできます。

●情報モラル教育実践ハンドブック

学習指導要領において、情報モラルについては、「情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度」と定められ、「情報活用能力（情報モラルを含む。）」とともに、学習の基盤となる資質・能力と位置付けられており、教科等横断的にその育成を図ることが求められています。

そこで、県教育委員会では、インターネットの利用に関する情報モラルやネット問題の危険性等についての理解を深め、自らトラブルを防止しようとする児童生徒の育成とともに、家庭でのルールづくりなどの取組が充実するよう、情報モラル教育実践ハンドブックを作成しました。児童生徒の情報活用能力の育成と情報社会に参画する態度を身に付ける学習が、全ての学校で充実するよう積極的な活用をお願いします。

●ハンドブックの概要

第1章 なぜ情報モラル教育なのか

- ・子どもたちをとりまく環境等の現状について
- ・新学習指導要領における情報モラル教育の位置付け
- ・情報モラル教育の進め方

第2章 実践するために

- ・保護者や先生～家庭と学校で取り組む～
- ・乳幼児、児童生徒

第3章 児童生徒が主体となって実施する

- ・指導のためのQ & A～学級活動について～
- ・児童生徒が発信する～他校種や地域への啓発・支援～
- ・児童会・生徒会による活動～ネットフォーラムより～

巻末資料：高知県サイバー犯罪ボランティア、何かあったときの相談窓口

情報モラル教育に関する
基本的知識

保育所・幼稚園等や学校
での保護者や教員の研
修で活用できる資料

学校の授業や帰りの会、
児童会・生徒会活動で活
用できる資料



詳しくは人権教育・児童生徒課ホームページや「高知家まなびばこ」をご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>



人権教育・児童生徒課
TEL：088-821-4722

命を守るヘルメット！ ～自転車通学時のヘルメット着用の推進について～

「高知県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」では、18歳以下の児童生徒の保護者の努力義務として、児童生徒に自転車安全教育を行うこと、乗車用ヘルメットを着用させること、自転車損害賠償保険等に加入するよう努めることなどが規定されています。

これを受け、県教育委員会では、自転車通学時のヘルメット着用を推進することを目的とした「自転車ヘルメット着用推進事業」を進めています。



●取組内容

- 自転車の安全利用に関する意識の向上を図るため、自転車の安全利用に関する指導・啓発活動を充実
- 児童生徒の登下校中の安全確保に向けた取組を充実
- 中高生のヘルメット着用促進を図るため、ヘルメット購入費用の一部を補助・助成

●自転車ヘルメット購入費の助成について

対象 県内の小中高校生で、自転車通学をしている児童生徒
取組内容 **〈県立 私立 国立学校〉**

販売協力店において、一人2,000円値引き

※私立・国立学校は、県私学・大学支援課が所管

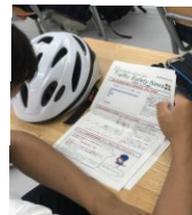
〈市町村立学校〉

ヘルメット購入に係る補助制度がある市町村の場合、県から市町村を通じて一人1,000円の補助（各市町村によって補助の状況が異なります）

※詳細は学校安全対策課ホームページ（下記URL）をご覧ください。



児童生徒の命を守るため、自転車ヘルメットの着用を促す交通安全教育の実施をお願いします。県警察から中学・高校に隔月1回提供される、交通安全教育教材「Traffic Safety News (TSN)」には、自転車の安全利用に関する題材が掲載されています。ヘルメットの着用をはじめ、交通ルール・マナー（自転車の車道左側通行や並進の禁止など）を守る指導に、ご活用ください。



また、教職員もぜひヘルメットを着用しましょう！自転車ヘルメット着用の促進に、ご協力をお願いします。

学校安全の取組を進めるにあたり、年度当初にしておくべきこと

学校安全の取組は、児童生徒の命を守るうえで欠かすことのできない重要な教育活動です。各学校において、新年度当初には次のことを全ての教職員で共有し、**管理職のリーダーシップの下、学校安全担当教員を中心に計画的に学校安全の取組を進めていく**ことが大切です。

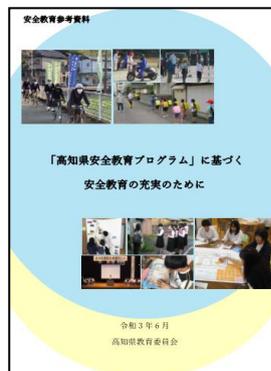
- 「**学校安全担当教員**」の校務分掌への位置付け（管理職以外の教員）と役割の明確化
- 「**危機管理マニュアル**」における、様々な危機事象への対応を全ての教職員で共有（組織体制と自分の役割の確認）
- 「**安全教育全体計画**」「**学校安全計画**」の共有（育成を目指す児童生徒の資質・能力の明確化、「安全教育全体計画」の学年別重点目標の達成に向けた取組の確認）

安全教育全体計画

学年別重点目標には、各学年で身に付けさせたい資質・能力を設定。この目標達成に向けた取組を。

学校安全計画

年間計画として
系統的・体系的に
整理



安全教育参考資料を活用し、
充実した安全教育を！



学校安全対策課ホームページはこちら。
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/312301/>



学校安全対策課 学校安全担当
TEL : 088-821-4533

第2期オーテピア高知図書館サービス計画の策定について - 県立学校等との連携・協力を中心に -

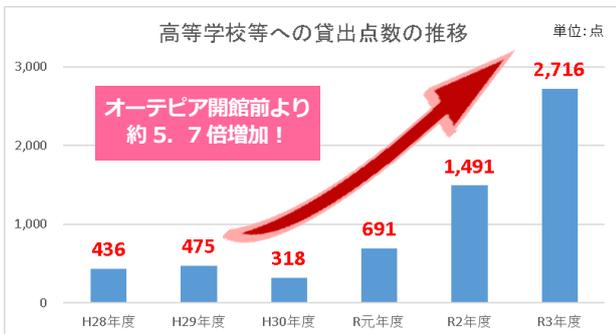
オーテピア高知図書館（高知県立図書館・高知市民図書館本館）では、第1期計画の成果・課題や社会情勢の変化等を踏まえ、令和4年度からの5か年にわたる「第2期オーテピア高知図書館サービス計画」を新たに策定しました（令和3年10月）。

第2期計画では、関係機関・団体との連携・協働による取組をさらに発展させることとしています。その一環として、県立学校等との連携・協力においても、デジタルコンテンツの提供など、オーテピア高知図書館が持つ資料・情報等の資源を生かして、子どもたちの学習活動を支えられるよう取組を強化します。

これまでの取組の成果

高等学校等への貸出点数が大幅に増加

- ・ 高等学校等への訪問によって把握した学校図書館のニーズに基づき、協力貸出を強化
- ・ オーテピア高知図書館が所蔵していない図書のリクエストにも対応し、購入して提供



各校の特色を踏まえた連携の強化

- ・ 産業系高等学校の特色や魅力を図書館でPR
- ・ 職業教育や進路指導に役立つ資料の提供
- ・ ティーンズの視点を生かした読書活動の推進



令和3年度の連携事例

- ・ 安芸桜ヶ丘高等学校・中村高等学校の生徒による図書展示
- ・ 高知小津高等学校の生徒による図書展示
- ・ 宿毛工業高等学校への足踏み式消毒液スタンド製作の依頼

第2期計画で強化する取組

デジタルコンテンツの提供

学習に役立つデジタルコンテンツを提供することで1人1台タブレット端末での子どもたちの学習活動を支えます。

・ 高知県電子図書館

(県立学校希望者にアカウント発行予定)

学習参考書や外国語と日本語両方で読むことができる音声・字幕付きコンテンツなどの電子書籍を約5,600タイトル収録

高知県電子図書館 ▶

※個人としての利用にお使いいただけます。授業での一斉利用はできません。



・ Kono Libraries

(図書館共通利用カードをお持ちの方は利用できます)

- ・ 電子雑誌閲覧サービスのアプリ
- ・ 外国語雑誌を含む約200種類の閲覧が可能
- ・ 一部雑誌には日・台・米・韓の音声読み上げ機能あり

探究学習に役立つ資料の貸出し

○ 図書館資料の活用を促進

探究学習に役立つ資料や情報をブログ等で積極的に発信することで、図書館資料の活用を促進します。資料は1冊から無料で学校へ送ります。

○ セット図書の充実

既存の「18歳からの選挙」「考えよう貧困問題」「情報リテラシー」といったセットに加え、がん教育や性、ヤングケアラといった社会的関心の高いテーマに関する資料の充実を図ります。



▲ 教職員のためのICT活用セット図書



▲ 高等学校図書館ブログ

厳しい環境にある子どもへの支援

○ 県内の教育支援センターとの連携

教育支援センターとの連携を強化し、資料の貸出しや出前講座等の実施を通して、子どもたちの社会的自立を支援します。

○ バリアフリー図書の貸出し

学習障害などの課題を抱える子どもたちと資料を積極的につなぐため、やさしく読める本(LLブック)や録音図書を学校へPRし貸出しを行います。



さくらバリアフリー文庫 ▶



詳しくはオーテピア高知図書館ホームページをご覧ください。
<https://otepia.kochi.jp/library>



高知県立図書館 支援協力担当
TEL : 088-802-6005

令和4年2月23日（水）、今夏の四国インターハイ開催に向けた「カウントダウンボード」を、高知県庁・JR高知駅・高知龍馬空港の3箇所に設置しました！

カウントダウンボードの製作には、令和3年4月から高知工業高等学校（情報技術科・電気科）、高知東工業高等学校（電子科）に取り組んでいただきました。

本来は、同日開催予定だったカウントダウンイベントにおいてボードのお披露目を行う予定でしたが、イベントが中止となったため、両校にご協力いただき、各設置場所において点灯式を行いました。

設置には、両校から代表生徒がそれぞれ参加し、ニュースや新聞に取り上げられるなど、インターハイの大きな広報活動となりました。

今後ボードは、高知県での競技開催初日を迎える7月26日までカウントダウンし、また、開催期間中はカウントアップしながら、県民や来県される皆さんにインターハイをPRします。

四国インターハイがいよいよ近づいてきました。みんなで盛り上げ、選手たちを応援しましょう！



～高知県庁～



● <製作：高知工業高校（電気科）>
県庁1階に設置したボードは、高知県キャラクターの「くろしおくん」に動きをつけるなどの工夫がされています！

～JR高知駅～



● <製作：高知工業高校（情報技術科）>
高知駅構内に設置したボードは、高知県開催の8競技10種目の「くろしおくん」が登場します！

～高知龍馬空港～



● <製作：高知東工業高校（電子科）>
空港ロビーに設置したボードは、開催競技・開催期間がスクロールして、到着した皆さんをお出迎えます！

～自主活動にご協力ください！～

インターハイに向け、四国4県では、高校生活動の一環として多くの学校で独自の「PR活動」や「広報活動」などの自主活動に取り組んでいます。

本県でも、令和3年11月に各高等学校に協力依頼し、3月までに18件の活動報告があり、少しずつ活動が広がってきております。

活動の様子は「四国総体 2022 公式HP」に掲載し、高知県の高校生活動を紹介しています。

各校における自主活動の計画・実施について、今年度も引き続きご協力をお願いします！



朝のあいさつ運動（宿毛工業高校）



ウェルカムボード作成（高知小津高校）

<活動例>

- のぼり旗の設置
- 校内放送で呼びかけ
- あいさつ運動
- 清掃活動
- ウェルカムボード制作
- チラシ等の配布



詳しくは四国総体 2022 公式ホームページをご覧ください。
<https://www.koukousoutai.com/2022soutai/>



保健体育課全国高等学校総合体育大会推進室
高校生活動・広報担当 TEL：088-821-8020





高校生ものづくりコンテストの測量部門において、高知工業高等学校土木科2年吉岡千賀さん、中川心優さん、山崎明希さんが県勢として初めて優勝しました。

高校生ものづくりコンテストは、全国の高校生（主に工業に関する学科）が一堂に会して、旋盤作業、自動車整備、電気工事、電子回路組立、化学分析、木材加工、測量の7部門及び溶接（公開競技）で技術・技能を競い合う全国的な大会で毎年開催されており、令和3年度は、11月13日・14日に神奈川県で開催されました。

高知工業高校土木科2年生のチームは、高知県大会、四国大会を勝ち抜き、四国ブロック代表として全国大会に出場し、見事、優勝することができました。

測量の部は、建設系の競技として、主に土木科の生徒が取り組み、トータルステーション（約10kg）という測量機器を使用して、制限時間（20分）内に、測量技術の正確さを競います。競技は、グラウンドに設けられた測定点（A～E）を実際にトータルステーションで測量し記録する「外業」と、外業の測量データをもとに計算し、測定点の距離や角度から座標位置や精度等を求める「内業」があり、総合的な測量技術を審査され、ポイント地点を合計150m計測して、誤差1mm、角度は0.003度の範囲で競います。高知工業高校は、内業、外業ともに出場チームの中で最高点となり、優勝することができました。

1月には瀧田知事への訪問を行い、自分たちで主体的に考え、課題に取り組み、チームで協働して勝ち取った成果との報告をし、知事からは、全国のトップレベルの選手達と共に技術を競い合った貴重な経験を生かし、連覇を目指して頑張っていたと褒められたと言葉もいただきました。



外業競技の様子



内業競技の様子



知事への優勝報告



詳しくは高知工業高等学校ホームページをご覧ください。

<https://www.kochinet.ed.jp/kochikogyo-h/>



高等学校課 定通・産業教育担当

TEL : 088-821-4846

お知らせ

■高知県立日高特別支援学校 高知しんほんまち分校が開校します！

地域の企業などと連携し、基礎的な職業教育に取り組むことを特色とする

「高知しんほんまち分校」が4月に開校します！

4月7日（木）に入学式を行い、高等部に13名が入学する予定です。

入学する生徒が就労に向け意欲的に学べるよう取り組んでいきます。

【高知県立日高特別支援学校 高知しんほんまち分校】

場所：高知市新本町2丁目13-51（旧江の口特別支援学校）

設置学部：中学部、高等部



<発行者> 高知県教育委員会事務局教育政策課

TEL : 088-821-4731 FAX : 088-821-4558 E-mail : 310101@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県教育委員会 WEB サイト : <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

※本広報紙への感想やご要望がございましたら、発行者までお寄せください。



高知県は持続可能な開発目標（SDGs）に向けて取り組んでいます。

